



風は海から

令和5年2月28日
令和4年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより3月号

巣立ちの春

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

学校の梅の木にたくさんの膨らんだ蕾があり、少しずつ花も咲き始めていました。「梅一輪 一輪ほどの 暖かさ」(嵐雪)の句にもあるように、ここのところ日一日と暖かくなり、春の気配を感じます。早いもので、いよいよ今年度最後の月となりました。

本校では、特色のある教育活動として「たてわり活動」に取り組んでいます。1年生から6年生までの子どもたちが集まるたてわりグループでは、普段あまり交流のない他学年の子たちとも、活動を通して顔見知りになり、慣れてくると声を掛け合う姿も見られます。いよいよ6年生が卒業を迎えることとなり、これまで活動をリードしてくれてきた6年生に感謝の気持ちを伝える「たてわりお別れ集会」の準備が進められているところです。この会の中心となるのは5年生。会の進行やゲーム選びなど、下級生をまとめながら計画・実践していくことで、今度は自分たちが最上級生になるのだという自覚が芽生えてきているようです。



6年生は24日に、お家の方を招いて「卒業を祝う会～結・実・極 六年間の集大成～」を開きました。群読や合奏では、一人ひとりの声や音をしっかり合わせて発表している姿に、さすが6年生だと改めて感動しました。スピーチでは、小学校生活で頑張ってきたことや思い出、中学校生活への期待や将来の夢を、まっすぐに堂々と自分の言葉で語っていました。6年前、小さな体に大きなランドセルを背負って小学校の門をくぐった子どもたちが、こんなに大きく、たくましく成長した姿に、お家の方はもちろんですが、私たち教職員も胸がいっぱいになりました。6年生は、3月17日に西富岡小学校を卒業していきます。友達や先生と過ごした6年間の思いは、きっといつまでも心の中に残るでしょう。卒業式は、今まで支えてくださった方への感謝の気持ちがあふれる素敵な式になることと思います。巣立っていく寂しさもありますが、中学校という新たな世界に向かって羽ばたいていく姿を楽しみにしたいと思います。

保護者、地域の皆様にはこの1年間、西富岡小学校の教育にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。今年は記念すべき創立50周年という節目を迎えた年となりました。これで一連の記念行事も終わりますが、様々な行事・活動を通して、保護者、地域の皆様、そして卒業生や創立に関わった方たちの思いも知ることができ、とても有意義な年になりました。今後とも西富岡小学校を温かく見守っていただけると幸いです。どうもありがとうございました。